

理事会と新年パーティー開催

1月15日、東京・ルポール麹町で

全海運は1月15日、東京・平河町のホテル・ルポール麹町で第348回理事会と新年パーティーを開催した。

理事会では、①暫定措置事業終了後の自由化に対する組合員へのアンケート調査集計結果最終報告 ②12月12日開催の船主・輸送両部会と正副会長合同会議の概要報告 ③令和2年度海運税制改正概要 ④11月26日開催の国土交通省交通政策審議会海事分科会第12回基本政策部会報告 ⑤総連合会の内航輸送主要元請オペレーター10月分輸送実績調査報告が審議された。



①は、全海運が18所属組合を対象に、暫定措置事業終了後の業界ルールのあり方について組合員の考え方を調査したもので、対象事業者は運送業463社（回答122社、26.3%）、貸渡業699社（同390社、55.8%）、兼業127社（回答のみ）、利用運送業356社（同90社、25.2%）だった。全海運ではこの結果を整理して総連合会に提出し、暫定措置事業終了後の組合組織と事業のあり方の検討に供したいとしている。

理事会終了後、国土交通省、総連合会と関係5組合などの関係者を招き新年パーティーに移り、藏本会長の挨拶、大坪新一郎国土交通省海事局長の祝辞、栗林宏吉総連合会会長の乾杯で幕を開けた。

